株式会社NABLA Mobility

会社説明

株式会社NABLA Mobilityは、「Lower Emissions. Higher Efficiency.」をミッションに掲げ、航空会社の運航オペレーションが直面する複雑な課題に対し、次世代のAI/ML技術を適用して解決策を提供する日本のディープテック企業です。2021年の設立以来、航空宇宙工学の専門家を含む世界トップクラスの技術者チームを擁し、従来のレガシーシステムや属人的な判断に依存していた運航管理領域に、データドリブンな最適化と予測のパラダイムをもたらしています。

今日の航空業界は、需要の増加に伴うオペレーションの複雑化、情報分断、燃料価格の高騰、そして最も重要な脱炭素化の要求という、深刻な課題に直面しています。同社は、独自の予測アルゴリズムセット「Untangle」をコア技術とし、不確実性の高い気象条件や交通流の乱れを予測することで、安全性を一切損なうことなく、運航のレジリエンスと効率性を両立させるソリューションを提供します。

主要製品は三つあります。 まず、パイロット向け燃料最適化ツールである**「Weave」は、最新の気象データと機体データを活用し、巡航中の最適な高度と速度をリアルタイムで推奨するEFB（Electronic Flight Bag）アプリケーションです。これにより、平均で飛行距離にかかわらず一貫した燃費削減効果をもたらすことが実証されており、航空会社の燃料コスト削減とCO2排出量削減に直結します。また、機内での接続を必要としないオフライン機能も特徴です。 次に、運航調整者向けの「Operational Forecaster」は、潜在的なフライトスケジュールの遅延を予測し、連鎖的な影響を可視化することで、ディスラプション発生の数時間前に対応策を講じることを可能にします。 さらに、パフォーマンスエンジニアやディスパッチャー向けの「OBST」**は、専門的な障害物NOTAM（航空情報）の分析を半自動化し、手作業の負荷を大幅に軽減し、重要な意思決定に集中できるように支援します。

NABLA Mobilityは、個別のフライトだけでなく、ネットワーク全体で不確実性を管理・最適化できる世界初のソリューションを提供することで、競合他社との差別化を図っています。これは、単なる効率改善に留まらず、2050年CO2排出実質ゼロを目指す国際民間航空機関（ICAO）の目標達成に向けた、航空業界全体の構造変革を支援する重要な取り組みです。2023年にはThe Boeing Companyを含む投資家からプレシリーズAラウンドで約3.2億円の資金調達を達成するなど、その技術力と市場性は国際的に高く評価されています。航空宇宙工学、気象学、機械学習の深い専門性を融合させた同社は、今後もグローバルな脱炭素化を牽引していきます。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
AI/機械学習（ML）技術を活用した航空会社向け運航最適化ソフトウェアソリューション（Weave、Operational Forecaster、OBSTなど）の研究・開発・提供。航空業界の脱炭素化と運航効率化の推進。

代表取締役
田中 辰治 (Shinji Tanaka)

設立年
2021年4月

資本金
4,149万円

従業員数
11 - 50人

URL
https://www.nabla-mobility.com/

オフィス情報

メインオフィス
〒1020072
東京都 千代田区 飯田橋4丁目8-6
日産ビル511